

まこと

ののうちのまこと VOL.22

後援会だより—January

発行日:2017年1月31日

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

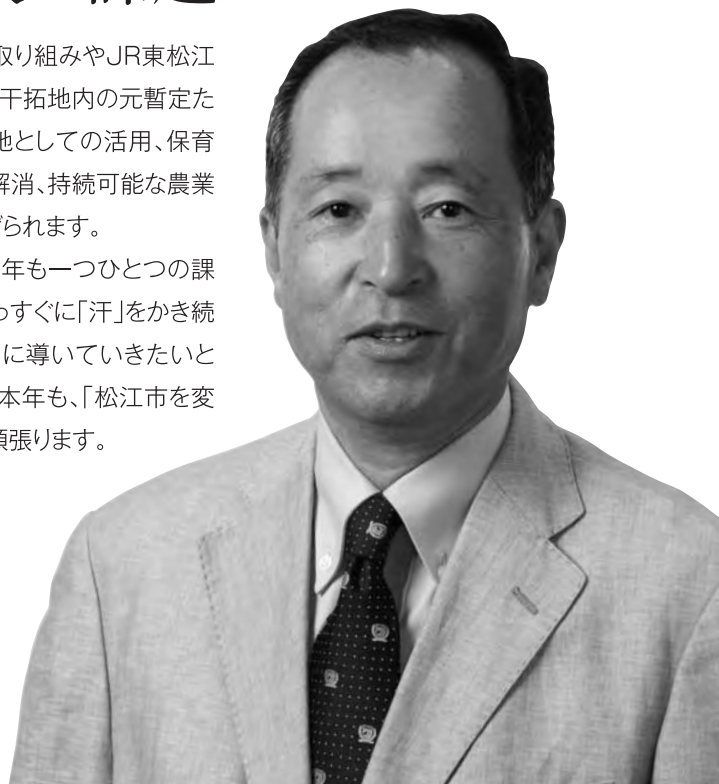
平成29年の松江市政の課題

私たち松江市の平成29年は、人口減少に歯止めをかけるための「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第1次総合戦略」の展開や、中核市への移行、土地利用制限の見直し、大橋川改修に伴う中心市街地のまちづくりなどなど、待ったなしの課題が山積しています。これらの課題に対処するため、新たな総合計画の策定作業が進んでおり、議会でも特別委員会を設けて調査研究に取り組んでいます。また、行政を担う松江市長・市議会議員選挙も4月16日に投票の予定です。

一方、松江市東南部地域の課題として、都市計画道路揖屋馬潟線の早

期全面開通の取り組みやJR東松江駅周辺の整備、干拓地内の元暫定ため池の工業団地としての活用、保育所の待機児童解消、持続可能な農業施策などが挙げられます。

野々内は、今年も一つひとつの課題に対して、まっすぐに「汗」をかき続け、解決の方向に導いていきたいと考えています。本年も、「松江市を変えろ力」として頑張ります。



農業委員会制度変更の条例制定などを可決

11月松江市議会

11月定例市議会は11月30日から12月19日までの20日間の会期で開会されました。

今議会は、農業委員会等に関する法令の一部改正により農業委員・農地利用最適

化推進委員(新設)の選出を市長が行うこととするための条例の制定など市長提案の49議案と人事案件の28件を可決しました。このうち、一般会計補正予算は約16億9千万円で、保育所施設整備事業費補助金や私立保育所運営費、エネルギー構造転換理解促進事業費などを計上しました。また、所属会派・松政クラブ提案が基と

なった議員提出議案としての、地方議会議員の社会保障の充実を図るための「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」と、給付型奨学金の創設などを求める「奨学金制度の拡充を求める意見書」は、共に全員挙手で可決しました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

松江市課題の要望活動

所属する松政クラブでは11月16日に東京へ出向き、細田博之衆議院議員と青木一彦参議院議員、島田三郎参議院議員に、松江市が抱える財政課題や道路整備課題などの要望国会議事堂内で青木参議院議員に要望活動を行いました。要望書に盛り込んだ7項目の実現を国に働きかけていただくようお願いしました。



国会議事堂内で青木参議院議員に要望活動を行いました。

松江の「べっぴんさん」

NHKの朝ドラ「べっぴんさん」。物語のモデルとなったのは神戸市で創業したベビー・子ども服メーカーの「ファミリア」です。その事業所が東出雲町にある「日本ベビーグロー(株)」で、昭和56年から稼働されています。身近なところにおいて全国で話題の「誠実な商品づくり」を12月に2度同社を訪問し、実感させていただきました。



日本ベビーグロー(株)島根事業所で

新しい税制度等の説明会を開催

東出雲町は合併後5年間の不均一課税が終了し、4月から都市計画税や軽自動車税、法人市民税、下水道使用料が松江市と同じ制度になります。市街化区域内農地が特に多い東出雲町・市向地区を対象に、説明会を11月24日に開催しました。合併時の約束とはいえ、問題の多い都市計画税は再検討が必要です。



現状と問題点を挨拶に併せて説明しました。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.22を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
携帯080-2901-0569
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在66歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



都市計画道路揖屋馬潟線整備に明るい展望

11月28日、揖屋馬潟線建設促進会議総会が開かれ、昨年2月の県議会議長や県土木部長などへの要望活動等の報告や今後の方向が示されました。



挨拶する奥田薫揖屋馬潟線建設促進会議会長

加藤勇県議会議員と共に働きかけるなかで、県と市が共同施行することになり、未着手の延長1,200mは市道とし、県の事業役割は今後連携して決めていくことになりました。現在施工中の延長660m部分は平成30年代前半に開通、延長1,200m部分は平成29年度に測量・設計の予算を計上し、平成30年代後半には全線開通の予定です。さらに早い全線開通を目指して頑張りたいと思います。



2月議会予定

- 2月 22日(水) 本会議(会期の決定、提案説明)
- 27日(月)・28日(火) 一般質問
- 3月 1日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 2日(木) 予算委員会
- 3日(金) 総務委員会・予算委員会総務分科会
教育民生委員会・
予算委員会教育民生分科会
- 6日(月) 総務委員会・予算委員会総務分科会
教育民生委員会・
予算委員会教育民生分科会
建設環境委員会現地視察
- 7日(火)・8日(水) 経済委員会・予算委員会経済分科会
建設環境委員会・
予算委員会建設環境分科会
- 13日(月) 予算委員会
(分科会長報告・質疑・討論・採決)
- 16日(木) 本会議
(委員長報告・質疑・討論・採決)、閉会

一般質問

野々内は、11月定例市議会でも連続21回目の一般質問を行いました。

Q 合併5年を経過した東出雲町の課題について

合併時に策定された「まちづくり計画」の5年間の総括と、今後5年間の振興策を伺う。

平成23年の合併前に10年計画で策定された「まちづくり計画」は、合



東出雲地域のまちづくりを進める東出雲支所



併5年を経過し検証

する時期にあると考えます。5年を経過し、スケールメリットを実感するに乏しく、スピード感も鈍いといわざるを得ません。

合併後も引き続き人口増を続けている東出雲町ですが、「日本一の子育て環境の整備と産業振興による住みよいまちづくりをめざして」をサブフレーズとする「まちづくり計画」の5年間の総括と、今後5年間の東出雲地域の振興策を伺います。

松浦市長 この合併により20万都市になって特例市になることができ、今回地方自治法改正により中核市への道も開けたことが大きく挙げられます。ものづくりの町としての企業との連携で新たな事業展開が可能になり、色々な支援制度を充実させています。

Q 松江イングリッシュガーデンをアイリッシュガーデンにすることにについて

松江イングリッシュガーデンを、小泉八雲縁のアイランズのアイリッシュガーデンとし、併せて、ギリシャ・レフカダ島やアメリカ・ニューオリンズの庭園を加味した整備を行う考えはないか伺う。更には小泉八雲の世界である妖精や妖怪の魅力を加えたストーリー性のある有料施設にする考えはないか伺う。



松江イングリッシュガーデンの入口

Q エネルギー構造転換理解促進事業について

補正予算案に計上のエネルギー構造転換理解促進事業としての地熱資源調査について、本市内の地熱開発の有望地域の見込みを伺う。また、東出雲町には過去の調査によって有力な地熱利用候補地があるが、その考え方を伺う。

星野政策部長 今年度実施する調査事業・地熱開発は、まず市内全域を対象に有望地域を明らかにし、さらに具体的にとどのような活用方法が考えられるのか調査します。議員御指摘の東出雲町内における過去の調査結果も

市内で最も待機児童数が増加している地域の二つで、子育て支援対策を今後ともしっかりと取り組みたいと思っています。

また、市内企業との連携による効果が発揮できるような企業誘致をすることで、雇用の場の創出を図りたいと思っています。

それから、野々内議員がかつて質問された東松江駅の活用問題は、この活用を十分考えていける非常に大きな資産だと思っており、まちづくりに活用の可能性を検討したいと思っています。

Q 鳥取県中部地震を教訓とした市庁舎の備えについて

災害時の業務継続計画の策定状況と、災害時の代替庁舎はどこに考えているのか伺う。

10月21日に発生した「鳥取県中部地震」では、被災した倉吉市役所に災害対策本部を設置できませんでした。松江市庁舎は老朽化が進み建て替えの計画がありますが、



有望な地熱利用候補地、東出雲町上意東・おちらと村周辺

含め、地熱活用の可能性について詳細な調査をしたいと考えています。

Q 児童虐待の防止への対策とひとり親への支援策について

①市が児童虐待の認定をした場合、虐待認定を受けた児童の保育所入所の際の基準点加算の考え方、保育所入所への配慮への考えを伺う。また、保育所入所への迅速な対応について伺う。

井田健康福祉部長 配偶者からの暴力があった世帯や虐待を受けた児童が



老朽化が進んでいる松江市役所本庁舎

職員参集手順や庁舎代替施設などを事前に定める「災害時の業務継続計画(BCP)」の策定状況を伺います。そして、災害に備えて代替庁舎はどこを考えているのか併せて伺います。

多久和防災安全部長 地域防災計画に準拠する業務継続計画の一部にもなる、防災対応マニュアルを作成し災害対策項目別の対応手順をとりまとめたところです。今後は計画素案の作成に向けて作業を進めていきます。その中で代替庁舎の選定を検討しているところです。災害対策本部は、消防本部や企業局庁舎等を代替施設と定めています。

いる世帯については、最優先で入所出来るよう選考基準指数を設定しています。要保護児童対策協議会で支援が必要と認められた場合の保育所入所は、入所の優先順位を高めるべく現在受け付けを始めた新年度入所分から選考基準指数を見直しているところです。児童虐待をはじめ社会的養護が必要な児童の保育所入所は、児童相談所や本市家庭相談室、保育所などに関係機関と連携し入所手続きや入所後の保育所生活についても支援をしているところです。

②ひとり親への支援策として、就労のための保育所入所がひとり親へ配慮がないと聞く。市の考えを伺う。また、発達障がい等の児童の診断書がある場合の配慮を伺う。

井田健康福祉部長 ひとり親世帯についても保育所への入所の必要性は高いと考えていますので、選考基準指数を一般家庭に比べて加点をしています。また、発達障害等の診断書がある場合も含めて保育の必要性が高いと考えており、新年度入所分から基準指数を加点して対応をしているところです。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)